

## 「能勢電が繋ぐ地域の絆」発表原稿

### 【P1】

これから発表させていただきます，大阪大学の田中と武庫川女子大学の西村です．よろしくお願いたします．能勢電鉄さんは様々なイベントを積極的に行い，外部からの集客には大きな効果を上げています．一方で，イベントが行われている地域の住民の関心はあまりないように感じました．せっかくのイベントなのだから，外の人が楽しんでいるだけではもったいない．地域の人も楽しめる能勢電のイベントにしていきたい．そして，そのイベントを通して，地域住民同士がつながり「絆」を紡いでいければなおよいと考え，能勢電のイベントを地域のイベントとして，住民自身が企画提案できるところまでを最終的な目標に定めつつ，今回は既存の「能勢電アートライン」のイベントを生かして，従来はなかった，「地域住民の役割」をこのイベントに付け加えることで，能勢電と地域住民の協働のスタートラインに立てればと考えています．

### 【P2】

まず，なぜ地域住民のつながりを意識したかといいますと，沿線を見させていただいたときに，写真のように草が伸び放題の公園が放置されており，本来地域住民の協働によって解決されるべき課題が放置されている様子がかがえることや，本来地域全体で育てていくべき子供に対して写真の看板にもあるように，冷たい印象を受けたということがあります．沿線の多くはベッドタウンであり，各個人が快適な環境を求めて移り住んだ世帯が多いと考えられます．各個人が，他人から干渉されずに暮らすことは，快適に暮らしていく上では，重要なことではありますが，それが行き過ぎ，地域住民の関係が希薄になりすぎると，地域全体の課題に対応できず，それは防災や防犯や地域の景観にまで影響することがあります．それは，快適な住環境を求めて移り住んだはずなのに，その住環境が悪化することを意味します．住環境の悪化は，新たに住む人の数を減らしてしまいます．地域の課題に，地域全体で向き合うこと，それができるようにするためには地域のコミュニティを再構築する必要がありますが，そのきっかけにしようというのが今回の提案の目的です．

### 【P3】

とはいっても，コミュニティを再構築するのは長い時間がかかります．なので今回はそのスタートラインとして，現在は能勢電が主体となっているアートラインの中に，住民が主体となれるような仕組み・イベントを取り入れて，将来的にコミュニティができたときに，そのコミュニティの核となるような活動にまで仕立て上げていきたいと考えていきます．

#### 【P4】

しかし地域にもさまざまな人々が住み、いきなり、地域の方々すべてに参加してもらおうと思ってもなかなかそれは難しいです。なので今回は、地域のこれからを担う子供たちに焦点を当て、子供たちが主体的に能勢電の沿線で活動することで、沿線での思い出ができ、沿線に対する愛着を育んでもらい、子供たちと地域の間に強いつながりを作ることで次の世代に、この沿線をつなげていってもらえることができると考えています。さらに、バラバラに通勤している大人と比べて、沿線の学校に通学している学生であれば、地域単位で、集団で活動することが容易で、また、親や祖父母などほかの大人たちに対しても大きな波及効果があると考え、まずは子どもたちに焦点を当てることにしました。

#### 【P5】

さらに提案の具体性を高めるため、今回は高校生に様々な役割を担ってもらおうと思います。高校生であれば、責任を持ってイベントに関わることができ、また、大人たちにはない新たな発想が生まれ、団結して一つのものを作り上げることもできます。まさに、未知の可能性の塊であり、来場者にわくわく感を与えるという意味では、アートラインでのイベントの担い手にぴったりの存在ではないでしょうか。アートクルーとして、高校生を積極的に起用するという方法もあります。

#### 【P6】

さらに沿線の高校にはこれだけたくさんの文化系の部活動があります。しかし皆さんは、これらの部活動の中で高校生が作り上げた作品や演奏にどれだけ触れたことがありますか。アーティストは遠い存在ではなく、地域の中にたくさんいるのです。それが高校生です。学校の中だけで、高校生の活動が完結するのは勿体ない。高校生の創作力を地域のイベントに生かすことで、高校生も外にむけて発表する場ができ、高校生と地域との絆が出来上がります。

#### 【P7】

また、沿線の高校が協力して、一つのイベントを作り上げるというのも全国に例がないと思います。吹奏楽部の演奏や、書道部のパフォーマンスといったものは、各学校単位で発表することはあっても、複数の学校が一緒になって発表するということはめったにありません。それらの企画や立案、タイムスケジュールは、土日を中心にして、高校生たちも参加した企画委員会を作って、決めていければと思っています。企画や立案に高校生がかかわることで、地域の一員としての自覚も強まるのではないのでしょうか。

#### 【P8】

でも、高校生にそこまで任せられるのか不安に感じていらっしゃる方もいるかもしれま

せん。しかし高校生はすごい力を持っています。これはまさに能勢電沿線の猪名川高校の事例ですが、地域の夏祭りの司会進行や店舗運営などを自分たちの力で行っています。この力を能勢電沿線全体の活性化にもぜひとも生かしたいと思います。

#### 【P9】

ここからは具体的にアートラインの中で、高校生の力を使って何をしていくのか、お話ししたいと思います。

アートラインは、今年度 45 日間行うことになっています。しかし 45 日間作品を展示するだけでは、外から来た人はおそらく一度来ただけでリピーターにはならないのではないのでしょうか。地元に住んでいる人も同じ作品が飾っているだけではなかなか興味を示しづらと思います。同じイベントに足しげく通ってもらうことが、能勢電沿線のファンを増やすためにも重要だと思います。何回も来てもらうにはどうしたらいいか、せつかく 45 日間あるのだから、何度来ても新鮮で飽きないようにするには、毎日の「変化」をつけることが大切だと思います。いまのアートラインに足りないこの「変化」の部分を高校生たちに担ってもらえないかと考えています。常設されたアートとアートの間で毎日違う「イベント」を催すことで単なる退屈な移動の道のりさえも、芸術空間になりえます。例としては奈良市内で行われている「ミュージックフェストなら」が挙げられます。他の音楽イベント同様に公会堂などでの演奏もある一方で、期間中は街中の至る場所でゲリラ的に演奏が行われます。訪れた人々は予期していなかった場所でのサプライズのおもてなしに感動します。

#### 【P10】

幸いなことに妙見口駅からケーブルまでさまざまな場所に空きスペースがあります。毎週土日はどこかの空き地で、時間限定で高校の文化部を中心に吹奏楽や合唱、書道のパフォーマンスなどをサプライズ的にしてもらえればと思います。目だけでなく、耳、五感で感じるアートラインを目指します。

#### 【P11】

「変化」と同時にアートラインで大事にしたいコンセプトとして「参加」があります。これはあくまで一例ですが、手形アートはどうでしょうか。来場者、地域の人々、老若男女問わず参加してひとつの作品を完成させていきます。

#### 【P12】

45 日あれば相当大きな、作品が作れると思います。どのような作品にするかは高校生の入った企画委員会で決めたいと思います。いつ行っても作品の姿は異なります。「何ができるんだろう」、「いつ完成するんだろう」見てもらう人、参加した人にわくわく感を感じて貰え、地元の人を中心に繰り返し期間中に何回も見に来てもらえるような、アートライン

の目玉になることを期待しています。

### **【P13】**

ここまで具体的にアートラインで何をするかについてお話してきましたが、最後に話を少し戻して、地域の人々、特に高校生が参加したことによってどのような効果がみこまれるかについてお話ししたいと思います。子供たちにとって見れば、達成感と同時に地域の一員としての自覚、地域への愛着が生まれてきます。また、アートラインに地域が積極的に参画したことによって、単なる電鉄の集客イベントから地域のイベントとなり、最終的にはその地域コミュニティの核となる行事にまで脱皮させていければと思います。もちろんここまで行くには、相当の長い時間がかかると思います。だからこそ、今はじめなければなりません。人口の高齢化がさらに進み、若い人が少なくなれば、イベントとしてできることも限られてきます。このアートラインをきっかけにできた地域の結束力を生かしてコミュニティを再構築すれば、暮らしやすい町にしていくために、住民自身が行動する素地になっていくと思います。そうなれば、住民のニーズにあった町を作っていくことにもつながり、外から来る人々にも住んでみたい町、元気な町という印象を与えることができるのではないのでしょうか。

### **【P14】**

また、今回は高校生を主役にすえました。この取り組みを継続的に続けていくことで、小学生や中学生は、地元の活動を体験し、高校生は地元の活動に主体として参画します。これらの、沿線で思い出を作り、郷土愛を育んだ世代が大人になっていく、このサイクルを繰り返していくことによって、また地域に戻ってくる世代を生み出していくことも可能ではないかと思います。

そしてこのコミュニティづくりの舞台はのせでんであり、そのコミュニティによって持続的な沿線が作られ、のせでんを支えるこの互惠関係を最終的な目標にして、まずはアートラインを舞台に互いの協働をスタートしたいと思っています。

### **【P15】**

ご清聴ありがとうございました。